

東京大学工学系エネルギー関連3研究センター第2回合同シンポジウム 「低炭素社会におけるエネルギー・資源開発の役割」

主催：エネルギー・資源フロンティアセンター (FR CER)
エネルギー工学連携研究センター (CEE)
先端電力エネルギー・環境技術教育研究センター (APET)
協賛：独立行政法人 石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)

日時：平成 23 年 3 月 8 日 (火) 13:00~17:45 (受付開始 12:30)
場所：東京大学 本郷キャンパス 小柴ホール (安田講堂裏・理学部 1 号館内)
参加費：無料、要旨集代：2,000 円 (当日受付にて申し受けます。学生無料)

趣旨： 低炭素社会の構築を目指した動きが進む中で、CO₂ を排出するエネルギー・資源開発は一般的に低炭素社会下では疎まれネガティブな側面しかないように見られる。しかし、エネルギー・資源開発は低炭素社会に向けての過渡期においては当然重要な役割を果たすものと期待されているし、低炭素社会の到来時においても社会の上流部門において重要な役割を果たし続ける可能性を持っている。本シンポジウムでは、低炭素社会におけるエネルギー・資源開発の役割のポジティブな側面を抽出する形で議論を進めたい。

プログラム：

- 13:00-13:05 開催挨拶
東京大学大学院 工学系研究科長・教授 北森 武彦
- 13:05-13:50 「持続可能なエネルギーの将来像—World Energy Outlook 2010 に基づく展望」
国際エネルギー機関 (IEA)
長期政策担当特別補佐官 芳川 恒志
- 13:50-14:30 「非在来型天然ガス革命と日本・アジアの温暖化対策」
独立行政法人石油天然ガス・金属鉱物資源機構 (JOGMEC)
特別顧問 石井 彰
- 14:30-14:55 「エネルギー収支的視点から見た石油天然ガス開発のパラダイムシフト」
東京大学大学院工学系研究科エネルギー・資源フロンティアセンター (FR CER)
准教授 松島 潤
- 14:55-15:10 休憩
- 15:10-15:40 「クリーンな気体燃料源としての石炭層」
東京大学大学院新領域創成科学研究科環境システム学専攻
准教授 島田 荘平
- 15:40-16:10 「高効率火力発電と CCS」
電源開発株式会社 技術開発センター
所長 後藤 秀樹
- 16:10-16:40 「高圧ガスパイプラインで構築する水素エネルギー社会」
東京大学大学院工学系研究科システム創成学専攻
教授 栗飯原 周二
- 16:40-17:10 「物質・エネルギー統合モデルとエネルギー・資源開発」
東京大学大学院工学系研究科原子力国際専攻
教授 藤井 康正
- 16:40-17:10 総合討論 (モデレーター：FR CER 准教授 増田 昌敬)
- 17:40-17:45 閉会の辞 FR CER センター長・教授 玉木 賢策

お申し込み : Web 申込フォーム (<http://www.frцер.t.u-tokyo.ac.jp/event/sympo110308.html>)
より 2 月 28 日 (月) までにご登録ください。なお、定員に達し次第締め切らせて
いただきますので予めご了承ください。

お問い合わせ : 東京大学大学院工学系研究科 エネルギー・資源フロンティアセンター事務局
〒113-8656 東京都文京区本郷 7-3-1
電話 : 03-5841-0243
E-mail : event@frцер.t.u-tokyo.ac.jp

詳細は添付のポスターまたはエネルギー・資源フロンティアセンターのホームページ
<http://www.frцер.t.u-tokyo.ac.jp/>をご覧ください。